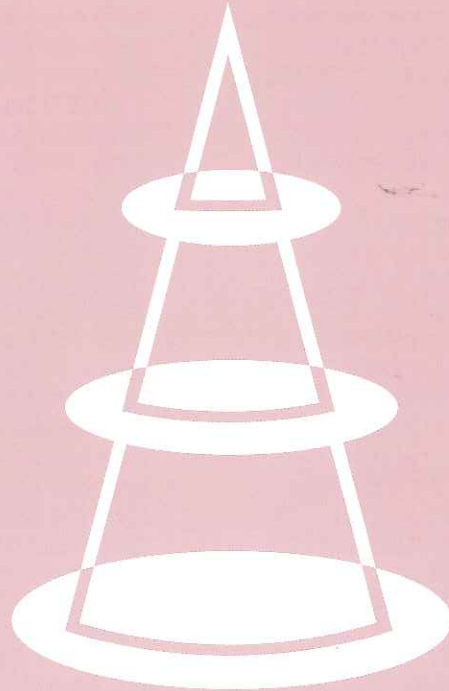


あしたの まちは 私がつくる



2011 第17回 長崎市都市景観賞 作品集

ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会委員長
田上 富久

長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

長崎市都市景観賞は、1987年(昭和62年)に、自然と歴史に育まれた長崎らしいまちづくりを進め、市民の皆様の景観への関心を高めるとともに、建築にたずさわる方々の励みになることを願って、長崎商工会議所、同青年部、主旨に賛同いただいた各団体、そして長崎市により実行委員会を組織し「都市景観建築賞」として始まり、今日に至っております。

今回で17回目を迎え、受賞作品も81件になりました。これもひとえに市民の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

「個性輝く世界都市 希望あふれる人間都市」。これは、長崎市の今後10年間のまちづくりの大きな方向性を示すランドデザインである「長崎市第四次総合計画」において掲げた、長崎市がめざす将来の都市像です。

この将来の都市像を実現するには、長崎の特徴である人を惹きつける歴史や文化、産業、そして景観にさらに磨きをかけ、まちの品格や魅力を高めることにより、市民が誇れるまちとするとともに、世界の人々誰もが訪れたいと思うまちづくりを進めていくことが必要です。

長崎はいま、「まちの形」を進化させる重要な時機にきています。陸の玄関口としての長崎駅周辺では、九州新幹線西九州ルート、JR長崎本線連続立体交差事業、長崎駅周辺土地区画整理事業などが動き出し、また、海の玄関口としての松が枝周辺地区では、上海航路やクルーズ船を迎えるための港の機能の拡充が予定されるなど、国際ゲートウェイ機能の再構築に向けた交流のためのインフラ整備が飛躍的に進み、さらに「まちなか」においては、歴史、文化の顕在化に取り組むことにより、まちの形が大きく変わっていきようとしています。

このことはまた、長崎の景観に磨きをかける大きな機会となるものであり、市民の皆様とともに、今後より一層の景観まちづくりを進めていく重要性を感じるものです。

長崎市都市景観賞は、市民の皆様の推薦から始まり、その中から受賞作品が決定されるように、長崎のまちを愛する皆様の想いで成り立っています。

今回受賞された作品は、いずれもこうした想いに応え、美しいまちなみや潤いある空間づくりに寄与し、市民生活を豊かにするとともに、これからの長崎の景観まちづくりに先導的役割を果たされるものと確信しています。

今後ともこの賞が、市民の皆様に親しまれ、長崎のまちづくりの一翼を担うことを祈念しますとともに、賞の応募に際し推薦をいただいた多数の市民の皆様、選考にあたりご尽力くださった選考委員の皆様、ご協力いただきました関係各位の皆様にご深く感謝申し上げます。



長崎商工会議所会頭
上田 恵三

2011長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞されました皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この長崎市都市景観賞は、魅力ある長崎らしいまちづくりを形成するにあたり、長崎の歴史的背景と地理的特色を生かした特徴ある景観や、周囲の街並みや雰囲気、調和し、洗練されたまちづくりに寄与する作品に対して贈られるもので、今回で17回目を迎えることとなりました。

今回選考されました作品や景観もこれまで同様、国際観光都市長崎に相応しく潤いあるまちづくりに寄与するなど、長崎らしい景観形成の新たな立役者が選考されました。

特に、受賞作品の一つであります「長崎港松が枝国際ターミナルビル」は、国際観光クルーズ船をはじめ、平成24年春から本格就航となります上海定期航路が発着するなど、アジアへのゲートウェイとして、長崎を訪れる人がまず降り立つ建物でございます。

今回、この「長崎港松が枝国際ターミナルビル」が選考されましたことは、交流人口の拡大が不可欠な本市にとって、大変意義深く喜ばしいものでございます。

さて、本市ではこれまでの数年間で、長崎市立図書館、長崎県美術館、長崎歴史文化博物館、さらには女神大橋などの都市基盤施設の整備が進み、都市機能がますます充実されましたし、新たな景観も創出されております。

現在、長崎駅周辺再整備事業や長崎市中央部・臨海地域の都市再生事業などの検討・計画が進められており、長崎市の景観はまさに大転換期を迎えております。

景観は、その地域の“顔”であるといえます。景観や街並みが移り行く中で、より魅力ある街であり続け、訪れる人に感動を与えるためには、こうした新たなまちづくりにおいて景観を大きなテーマとして捉え、検討しつつ、歴史的かつ地域の特徴を持つ景観を顕在化し、後世に引き継いでいくことが必要であり、私達の使命でもあると存じます。

こうした意味からも本事業は、景観はもちろんのこと、長崎の観光資源の掘り起こしやこれまでに培われた歴史、文化などを改めて見直す良い機会であり、長崎らしく調和のとれたまちづくりを促進するとともに、これからのまちづくりを行なう上で重要な役割を担うものであります。

そのうえで、おもてなしの心、今後展開される観光政策やイベントなどのソフト面の充実も重要であると考えます。

最後に、長崎市都市景観賞が、今後とも景観に対する市民の皆様のご理解や関心を高め、良好な都市景観形成の促進に寄与するものとなりますことをご期待申し上げますとともに、今回ご協力いただきました皆様並びに、本事業の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆様、選考委員の皆様へ御礼を申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

選考を終えて



長崎市都市景観賞選考委員会座長
宮原 和明

2011長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された皆様に心からお祝い申し上げます。

長崎市の都市景観賞が創設されたのは、今から24年前の昭和62年(1987年)で、今回で17回目を迎えます。当時はバブル景気で日本全体が建築ブームに沸き立っていた時代でした。それまで歴史あるいくつかの洋館が失われ、また当時「旧香港上海銀行」も取り壊される計画が持ち上がりました。そのため長崎市の歴史的景観を守る立場から長崎市民が大きく反対し、建物は現地保存されることになりました。翌年には長崎らしい景観を考える機運の中で、長崎市の魅力ある景観を守り育てるために、全国でもいち早く「長崎市都市景観条例」が制定され、バブル経済と建築ブームの中で、将来の長崎市の都市景観を誘導するような良質な建築を奨励するために「長崎市都市景観賞」が設けられたのです。

都市景観賞創設から20数年経ちますが、社会の背景はバブル経済の崩壊や地球温暖化問題をきっかけにスクラップアンドビルドから長寿命建築が命題になり、成長社会から環境と調和した成熟社会への考え方に時代は変化してきました。また景観の考え方も浸透し、どこの都市においても、景観は都市政策の施策の根幹に置かれるようになりました。さらに平成17年(2005年)には、「都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るための景観法」が施行されました。一方長崎市は平成17年から18年にかけて周辺の長崎半島から西彼杵半島の、野母崎、三和、香焼、高島、伊王島、外海、琴海の7カ町と市町村合併し、産炭地端島、池島や大村湾を望む歴史と自然豊かな都市に変化しました。

このような時代の変化を背景に、長崎市都市景観賞は選出する対象が変化しつつあります。今回、大きな建物部門では、景観賞として「長崎港松が枝国際ターミナルビル」が選ばれました。この建物の特徴は、長崎市都市景観条例に基づき、南山手から見下ろす長崎港の大景観を確保するため、ターミナルビルの高さを抑え、建物内部から緑化された屋上への回遊性が確保され、丘公園のような光と風を感じさせる建築です。歴史のある部門では、「三菱重工業(株)長崎造船所史料館」が選ばれました。明治31年(1898年)木型場として建設された造船所内に現存する最古の建物です。テーマ部門で景観賞として選ばれたのは「古賀植木の里」です。長崎の町建て以来400年の歴史ある植木業の集積された集落景観は、長崎市を代表する伝統的景観として評価されました。奨励賞は、小さな建物部門で「(株)文明堂総本店浜町店」が選ばれました。良好な店舗景観形成のあり方を示唆したものです。歴史ある部門では明治初期に建てられた中華料亭「陶々亭」が選ばれました。テーマ部門の「琴海利根川と桜」は、後世に残る桜並木を創ろうと市民力を活かした地域景観づくりが評価されたものです。

バブル景気の建築ラッシュの中で質の高い建築を顕彰し、長崎のより良い都市景観をめざして創設された都市景観賞は、創設から20数年経ち、環境と調和した時代にあった建物を評価するようになってきました。また長崎市も周辺町と合併して、豊かな海岸と山岳の自然や魅力ある農村・漁村集落を含むようになりました。このような地域と環境にふさわしい環境負荷の少ない建築を顕彰することも必要な時代になってきています。

最後に、今回の選考に携わった選考委員会の皆様にお礼を申し上げますと共に、長崎市都市景観賞が今後ますます発展することを願っております。

選考委員会

座長

宮原 和明

長崎総合科学大学名誉教授 (建築)

委員

出口 克彦

社団法人長崎県宅地建物取引業協会長崎支部理事 (宅地建物)

井上 正雄

社団法人日本建築家協会九州支部長崎会副会長 (建築)

岡林 隆敏

長崎大学大学院工学研究科教授 (土木史・土木景観)

川端 真理子

ながさきプレス編集長 (マスコミ)

木場 耕志

社団法人長崎県建築士事務所協会長崎支部副支部長 (建築)

小林 純一

長崎県電気工事業工業組合長崎支部理事 (電気)

鉄川 進

社団法人長崎県建築士会長崎支部支部長 (建築)

仁位 孝雄

NPO法人長崎市美術振興会理事 (写真)

馬場 宣房

長崎新聞社取締役編集局長 (マスコミ)

松田 正美

長崎市造園建設業協同組合 (造園)

吉川 國夫

社団法人長崎県測量設計業協会技術委員会副委員長 (測量)



第17回
長崎市都市景観賞
2011

「大きな建物部門」

長崎港松が枝国際ターミナルビル



[選考理由]

2010年3月にオープン。長崎市都市景観条例に基づき、南山手から見下ろす長崎港の大景観を確保するため、ターミナルビルの高さを抑えた。水辺空間に低く配置された扇状のシンプルな建物は、屋上緑化もなされ、周辺の芝生公園に溶け込み、気持ちのいい風を感じさせる。長崎港に降り立ったクルーズ客は、港から広がる視野の中に、市民が残した「旧香港上海銀行」など長崎ならではの街並みを発見するだろう。市民にとっても景観条例がもたらす大景観の効用を実感できる場所となっている。

(馬場 宣房)

所在地／松が枝町7番16号
用途／旅客ターミナル
階数／地上1階
面積／1,996㎡
構造／鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造

■所有者
長崎県
長崎市江戸町2番13号

■設計者(建築)
Inter Media 一級建築士事務所
代表 佐々木 信明
島原市有明町湯江甲263番地

■設計者(緑地)
株式会社オリエンタルコンサルタンツ 長崎事務所
所長 山本 和幸
大村市西大村木町927番地2-4

■ 施工者(建築)

長崎土建・西海特定建設工事共同企業体(建築)

株式会社長崎土建工業所 代表取締役社長 増崎 博之

長崎市出島町4番2号

株式会社西海建設 代表取締役 寺澤 律子

長崎市興善町2番8号

第三・東光特定建設工事共同企業体(電気)

株式会社第三電機 代表取締役 三浦 孝一

長崎市松が枝町5番39号

株式会社東光電気 代表取締役 馬場 克也

長崎市大浦町9番5号

ヤナガワ工業株式会社(空調) 代表取締役 城戸 淳一

長崎市金堀町54番6号

株式会社長与管工設備工業所(衛生) 代表取締役 尾川 公一

長崎市女の都4丁目1番19号

■ 施工者(土木)

株式会社長崎中央建設(土工) 代表取締役 西山 潤一郎

長崎市平和町5番19号

株式会社三基(土工) 代表取締役 山口 雅二

長崎市大橋町22番14号

株式会社松田久花園(植栽) 代表取締役 松田 英明

長崎市畝刈町1613番地251

長崎電業株式会社(電気) 代表取締役 中川 志郎

長崎市花園町2番21号

株式会社ウエノ(木製舗装等) 代表取締役 上野 英剛

長崎市宿町163番地6

株式会社兄弟緑地(植栽) 代表取締役 渡邊 道明

長崎市古賀町2151番地

株式会社朝長緑化建設(土木・植栽) 代表取締役 朝長 靖司

東彼杵郡川棚町小串郷2695番地





『歴史のある部門』

三菱重工業株式会社長崎造船所 史料館



三菱重工業株式会社長崎造船所 提供

【選考理由】

幕末の開港以降長崎に建てられた洋風建築は、そのほとんどが様式の要求に応じて日本の建築職人が建てたものである。したがってその多くに和の工法も見られ、独特の味をかもしている。しかしながら、工場建設のために海外から訪れた建築技術者の指導による、工法も含めた本物の洋式建築物も少ないながら存在している。

1898年に鋳物工場の木型場として建設されたこの建物は、壁体として使用されることの多い長崎の煉瓦造建築物のなかで、煉瓦を構造体としている数少ない例である。規模も大きく、歴史的建築物であることをはずして見ても、その空間の迫力に圧倒される。工場らしいシンプルなデザインだが、外観も好ましい。工場敷地の中にあるので街からはその一部しかうかがえないが、創業150周年を迎えた平成19年に見学用の門も設置されてアクセスもしやすくなった。

(鉄川 進)

所在地／飽の浦町1番1号

用途／史料館

階数／地上2階

面積／1,562㎡

構造／煉瓦造 棧瓦葺

■所有者

三菱重工業株式会社 長崎造船所

所長 相馬 和夫

長崎市飽の浦町1番1号





【テーマ部門】

伝統ある植木業が創り上げた文化的景観賞
古賀植木の里



【選考理由】

古賀の植木業の歴史は古く、長崎の町建て以来400年の歴史の中で、中国をはじめ海外に植木を販売した実績があります。江戸時代の長崎の名勝旧跡を記した「長崎名勝図会」にも、「長崎街道の沿い。植木の産地で、…接ぎ木したり、枝をたわめたりして、長崎に持ってきて売る。唐人達も観賞して買う。」と紹介されています。

JR肥前古賀駅周辺（松原町）の斜面には沢山の植木業（造園業）の自宅が集り、それぞれの庭には商品の数え切れない種類の植木が植えられ、これらが集積して独特の植栽景観が創られています。この地域全体が、各庭園が組み合わせられた公園を構成して、緑の回廊でつながった迷路のような不思議な空間となっています。「古賀植木の里」を象徴するものとして、日本一見事なラカンマキ（樹齢約600年、高さ約10m）が赤瀬邸の枯山水の庭園にあります。

長い歴史と植木の生業が醸し出してきた、長崎市を代表する傑出した景観です。景観賞を超えた、長崎市を代表する伝統的な景観として評価されました。

（岡林 隆敏）

所在地／松原町
用途／庭園

■ 代表者
農事組合法人古賀植木園芸組合
組合長 松本 正登
長崎市松原町2636番地
松原町自治会





第17回
長崎市都市景観賞 奨励賞
2011

『小さな建物部門』

株式会社文明堂総本店 浜町店



[選考理由]

いまや全国的に有名な文明堂のカステラだが、その本家・発祥が長崎の株式会社文明堂総本店。明治33年創業、長崎県内にも多数の直営店舗を持っており、その中の一つがこの浜町店だ。

長崎市の中心部、浜市アーケード内に面しており、そのモダンな佇まいは多種多様な店舗が混在する通りの中で一際目を惹いている。壁面のダークなカラーと瓦葺のひさしからは、江戸町の歴史ある本店(2007都市景観賞受賞)の風格も表現されているように感じられる。また、月に一度店舗の坪庭の表情が変わるのも評価のひとつ。季節の草花が行き交う人の目を癒し、「長崎の街を元気にしたい」がモットーである社長 中川安英氏の「商店街で季節を感じられたら…」との想いが現れている。

不景気で活力を失いがちな商店街、このような景観に配慮した店構えの建物が増えていくことが、良好な都市景観を形成する道しるべになるのではないだろうか。

(川端 真理子)

所在地／浜町8番27号

用途／店舗

階数／地上3階

面積／300㎡

構造／鉄筋コンクリート造 陸屋根

■所有者

株式会社文明堂総本店

代表取締役社長 中川 安英

長崎市江戸町1番1号

■設計者

株式会社船場

代表取締役 栗山 浩一

東京都台東区台東3-29-1

■施工者

同上





第17回
長崎市都市景観賞 奨励賞
2011

「歴史のある部門」

陶々亭



[選考理由]

十人町の石畳を登っていく途中にこの建物はある。黒漆喰塗りの外壁と鉄製の防火扉が目につく和風木造建築で、そのたたずまいはしっとりして往時をしのばせている。明治41年10月4日に貿易商の邸宅として上棟された資料が残っているそうである。その後昭和になってから現在の「中華料亭 陶々亭」として50有余年の歴史を刻んでいる。完全予約制で4室の個室で中華料理がいただける。長崎人が館内と呼ぶ明治時代まで中国人居留地で唐人屋敷があった場所と隣接した地にある和風建築の中華料理店というコントラストが長崎の歴史を感じさせて面白い。

(井上 正雄)

所在地／十人町9番4号

用途／店舗

階数／地上2階

面積／320㎡

構造：木造瓦葺

■所有者

陶々亭

酒井 章

長崎市十人町9番4号





「テーマ部門」

地域の誇りは四季の花に囲まれた風景賞 琴海戸根川と桜

【選考理由】

国道206号線で西海橋方面に向かい、時津町を過ぎて日並バイパスを過ぎ琴海ニュータウンを右手に見て進むと、琴海戸根町の街並みが見えます。ここから国道は、県民の森のある長浦岳の東側から大村湾にそそぐ戸根川沿いを通り、戸根橋を渡ります。

この戸根川流域約2kmにわたって300本を超える桜が植えられています。これらの桜は、地域の団体である「戸根さくら組」が「戸根川沿いに、後世に残る桜並木を創ろう」を目標に、平成9年から植栽し、剪定、害虫駆除をして現在まで育ててきました。春ともなれば、国道206号線から、田圃の中に広がる見事なさくら並木を見ることができます。

「戸根さくら組」は、さらに、菜の花、彼岸花を地域に広げ、コスモスの花園の管理や冬のイルミネーションの点灯など、地域の景観づくりを進めています。戸根川沿いの桜並木の景観と共に、地域の景観づくりの活動は、市民力を生かした長崎市の景観づくりに寄与するところが大きく、景観奨励賞として評価されました。

(岡林 隆敏)



所在地／琴海戸根町

用途／河川敷地

■ 代表者

戸根さくら組

戸根地区自治会





長崎市都市景観賞表彰作品一覧

年度等	種別	物件名	所在地
1987 第1回 昭和62年度 (5件)	都市景観建築賞	活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町1番50号
		(旧) カロムビル	浜町3番19号
		フォーレ三原台	三原2丁目24番1号
		松翁軒	魚の町3番19号
		中華門	新地町
1989 第2回 平成元年度 (5件)	都市景観建築賞	活水学院楠光寮	新戸町3丁目31番24号
		小ヶ倉公営住宅	ダイヤランド4丁目9番・10番
		シーボルト記念館	鳴滝2丁目7番40号
		蜚茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	馬町から中川2丁目
		山里小学校	橋口町20番56号
1991 第3回 平成3年度 (5件)	都市景観賞	(旧) 川口鼈甲店	浜町7番13号
		シーボルト通り	新大工町
		(旧) 長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町2番26号
	奨励賞	(旧) 泉写真館	川口町6番24号
		月光スタジオ看板	桜馬場1丁目2番28号
1992 第4回 平成4年度 (4件)	都市景観賞	海星修道院・海星学園図書館	東山手町1番2号
		(旧) 矢上小学校現川分校	現川町1912番地
		小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内)	上戸町4丁目8番1号
	奨励賞	坂本龍馬之像	伊良林3丁目(風頭公園内)
1993 第5回 平成5年度 (4件)	都市景観賞	(旧) 金子建設株式会社本社ビル	松山町9番18号
		湊公園	新地町7番
		県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
	奨励賞	復元唐船「飛帆」	—
1994 第6回 平成6年度 (2件)	奨励賞	長崎県立総合体育館	油木町7番1号
		長崎横尾郵便局	横尾1丁目17番12号
1995 第7回 平成7年度 (4件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎電気ビル	城山町3番19号
		(歴史のある部門) 常岡歯科診療所	油屋町2番18号
		(テーマ部門: 歴史ロマン賞) 龍馬のぶーつ	伊良林2丁目5番
	奨励賞	(小さな建物部門) (旧) 林兼石油(株)浦上給油所	松山町4番41号
1996 第8回 平成8年度 (5件)	都市景観賞	(小さな建物部門) 三宅脳神経外科医院	若草町3番21号
		(歴史のある部門) 岩永梅寿軒	諏訪町7番1号
		(テーマ部門: 建築エコアップ賞) 賑町パーキングセンター	栄町5番5号
	奨励賞	(大きな建物部門) 長崎女子高等学校記念体育館	中小島2丁目
		(テーマ部門: 四季プロムナード賞) 文教通り	文教町、大橋町
1997 第9回 平成9年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎市科学館	油木町7番2号
		(歴史のある部門) 深堀の石堀群	深堀地区
		(歴史のある部門) 宝製綱株式会社	小曾根町1番39号
	奨励賞	(小さな建物部門) 高野眼科医院	平野町10番3号
		(テーマ部門: ベイサイドシンボル賞) 三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ	飽の浦町1番1号

年度等	種別	物件名	所在地
1998 第10回 平成10年度 (7件)	都市景観賞	(歴史のある部門) 福砂屋本店	船大工町3番1号
		(歴史のある部門) 児童養護施設マリア園	南山手町12番17号
	奨励賞	(大きな建物部門) ホテルモンテ長崎	大浦町1番22号
		(小さな建物部門) 岩永邸	小江原4丁目18番3号
		(小さな建物部門) 白髭内科医院	片淵1丁目35番18号
		(テーマ部門: 四季プロムナード賞) サントス通り	上野町、橋口町、岡町
		(テーマ部門: 自然賞) 善長谷教会とそこからの景色	大籠町善長
1999 第11回 平成11年度 (3件)	都市景観賞	(小さな建物部門) 長崎平和記念教会	富士見町21番14号
		(歴史のある部門) 料亭 富貴樓	上山町5番4号
	奨励賞	(テーマ部門: プロムナード賞) 崇福寺通り	鍛冶屋町、油屋町
2001 第12回 平成13年度 (6件)	都市景観賞	(歴史のある部門) 小野原本店	築町3番23号
		(歴史のある部門) 長崎大学経済学部 瓊林会館	片淵4丁目2番1号
		(テーマ部門: さかみち部門) どんどん坂	南山手町
	奨励賞	(大きな建物部門) 慰めの聖母カトリック城山教会	若草町6番5号
		(大きな建物部門) 九州電力株式会社新地変電所	新地町6番10号
		(大きな建物部門) 長崎出島ワーフ	出島町1番1号
2003 第13回 平成15年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	平和町7番8号
		(テーマ部門: 建築リニューアル賞) 長崎総合科学大学人間環境学部棟	宿町3番地1
		(テーマ部門: 街角ディスプレイ賞) 福砂屋 松が枝店	松が枝町2番43号
	奨励賞	(大きな建物部門) 長崎ペンギン水族館	宿町3番地16
		(小さな建物部門) 八幡町公民館	八幡町3番9号
2005 第14回 平成17年度 (6件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎県美術館	出島町2番1号
		(小さな建物部門) ビストロ・ピエ・ド・ポー	鍛冶屋町4番17号
		(歴史のある部門) 増田邸	片淵2丁目18番18号
	奨励賞	(大きな建物部門) 斜行エレベーター	上田町、相生町
		(テーマ部門: 動く風景賞) 超低床電車	—
		(テーマ部門: 赤煉瓦堀のあるプロムナード賞) 三菱通り	飽の浦町1番1号
2007 第15回 平成19年度 (4件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 親和銀行大波止支店	五島町4番16号
		(小さな建物部門) BAR 猪ノ口屋	栄町4番11号
		(歴史のある部門) 文明堂総本店	江戸町1番1号
		(テーマ部門: 鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞) 寺町通り	寺町
2009 第16回 平成21年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門) 長崎市立図書館	興善町1番1号
		(小さな建物部門) 長崎大学医学部「良順会館」	坂本1丁目12番4号
		(歴史のある部門) 料亭「一力」	諏訪町8番20号
		(テーマ部門: 四季折々の表情が美しい田園景観賞) 大中尾棚田	神浦下大中尾町
	奨励賞	(大きな建物部門) カトリック西町教会	音無町9番34号



長崎市都市景観賞表彰実行委員会